

東京 2021 オリンピックに参加の競技者の方々へ

「肉離れのリスク因子解析と 3x3 バスケットボールの疫学調査」へのご協力のお願い

○調査の目的

- ・全競技における肉離れの疫学調査とリスク因子の解明を行うこと
- ・3x3 バスケットボールにおける全傷病に対する疫学調査を行うこと

○調査の意義について

肉離れは一般的なスポーツ傷害です。肉離れを発症するとスポーツ活動を 2～4 週間休む必要があります。また、肉離れは再発率が高い傷害でもあります。2016 リオデジャネイロオリンピックでは合計 68 例の肉離れが報告されました。しかし、その詳細は報告されておらず、競技、性別、年齢、体重などの傾向はわかっておりません。また、一般的な肉離れの発症の危険因子としては男性、高齢、疲労、および肉離れの既往歴あげられています。ただし、オリンピック競技において肉離れに関連する危険因子の評価はされていないのが現状です。オリンピック選手の肉離れ発症の疫学的評価とその危険因子の調査・特定を行う予定であります。

また、5 人制バスケットボールにおける傷病発生の疫学については今まで多くの報告がなされているが、3x3 バスケットボールについてはほとんど報告がありません。3x3 バスケットボールの歴史はまだ浅く、東京 2021 オリンピックで競技として初めて登録されたスポーツです。5 人制バスケットボールと比較することにより 3x3 バスケットボールの傷病疫学とその特徴を知ることが、今後の同競技における大会救護の準備や傷病予防にも繋がる可能性があります。

これらはオリンピックレベルの競技者だけではなく、将来のオリンピックに出場することを熱望している若いアスリートや一般のスポーツ愛好家にとっても有益な調査である。

○調査の対象

- ・オリンピック選手村診療所にて肉離れと診断されたすべての競技者(予定人数 50-100 人)
- ・オリンピック選手村診療所を受診したすべての 3x3 バスケットボールと 5 人制バスケットボールにおける競技者(予定人数 100-180 人)

○調査の方法

オリンピック終了後に選手村診療所における既存の診療情報を後ろ向きに解析します。具体的には、競技者の背景情報（性別、年齢、職業、身長・体重、診断名、罹患期間、罹患側、併存症、家族歴、活動度、競技種目、スポーツのレベル等）、症状（膝関節痛、膝関節可動域、歩行能力、スポーツ復帰状態、スポーツパフォーマンス等）、血液検査所見、身体所見、画像所見（レントゲン、MRI、エコー）、診断名を使用致します。肉離れの診断があった症例に関しては背景情報からリスク因子を解析します。また、3x3 バスケットボールにおける種々の傷病についての発生数、部位を特定し、5 人制バスケットボールのそれと比較・解析することで傷病の疫学調査を行います。解析にあたっては対象者が特定できるデータ（名前、所属、ID など）をすべて消去した上で、番号による匿名化を行います。共同研究機関へのデータ授受に関しては個々のデータは取り扱わずに解析方法・結果のみをメールにて共有する。

この研究に参加することで新たに何かをしていただくことはありません。なお本研究は問題となるような利益相反がないことが、本学の利益相反委員会において承認されています。

○研究の概要について

タイトル： 2021 東京オリンピックの参加選手を対象とした肉離れ発症の疫学的評価と肉離れ発症の危険因子の調査

承認番号： 第 M2021-048 番

研究期間： 研究実施許可日から 2026 年 3 月 31 日

研究責任者：東京医科歯科大学病院 整形外科（運動器外科学） 教授 古賀 英之

共同研究者：安 宰成²、柳下和慶²、足立拓也³、大西賢太郎⁴、Lars Engebretsen⁵⁷、Bruce Forster⁶⁷

1) 東京医科歯科大学 病院 整形外科（運動器外科）

2) 東京医科歯科大学 スポーツ診療センター

3) 東京医科歯科大学 画像診断・核医学分野

4) ピッツバーグ大学 整形外科

5) オスロー大学 整形外科

6) ブリティッシュ コロンビア大学 放射線科

7) International Olympics Committe Medical and Scientific Games Group

○本調査へのご協力にあたって

診療録のみを用いた研究であるため、文面による同意取得は実施しておりませんが、ご自分の診療録や検査結果がこの研究で用いられることを希望されない患者さんは、ご遠慮なく医師またはスタッフにお申し出下さい。今回のお願いに対して拒否をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて決めてください。拒否をなさっても、今後の診療に何ら不利益になるようなことはありません。

○研究協力の任意性と研究参加の拒否の自由について

この研究に参加するかどうかはあなたの自由です。研究への協力を希望されない方はお申し出ください。協力されなくとも不利益を受けることはありません。研究についてわからないことや聞きたいこと、心配事がありましたら、いつでも遠慮なくおしゃってください。また、希望すればいつでも研究参加を拒否することができます。研究参加を拒否されても不利な扱いを受けることはありません。研究参加の拒否時はあなたのデータは破棄します。

以上の点につきましてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

東京医科歯科大学病院 整形外科（運動器外科学） 安宰成、古賀英之

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 03-5803-5678(ダイヤルイン) (平日 9：00～17：00)

苦情窓口：東京医科歯科大学統合研究機構事務部研究推進課生命倫理係

03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)